



市川市立妙典中学校だより 10月号

息吹 05



学校教育目標 未来を拓く妙典中生徒 ~明るく・正しく・美しく~

〇ふれあいを大切にする生徒 〇進んで学ぶ生徒 〇頑張り抜く生徒 令和5年10月18日

〔 表題「息吹」は、妙典中校歌、2番の歌詞「♪~世界の息吹うけとめて、生きる力を身につけん~♪」から付けました。「05」は令和5年度を表しています。生きる力を身に付け、未来を拓く妙典中生の育成を目指します。 〕

「天高く 馬肥ゆる秋」、青く晴れ渡る空が清々しく、爽やかな季節となりました。南瓜やさつまいも、秋刀魚やきのこなど、秋の味覚も楽しみです♪

さて、先週で前期が終わり、今週から後期に入りました。一年の折り返し地点となる今、これまでの歩みを振り返り、後半の取組に生かしてほしいと思います。

文頭のことわざ「天高く 馬肥ゆる秋」は、秋は空が澄み渡って高く見え、馬も食欲が増して肥えるような収穫の季節であり、天気良くて食べ物も美味しく、過ごしやすい秋を称賛する意味合いで使われますが、元々はそのような良い意味ではありませんでした。その由来は中国の故事にあり、秋になると肥えてたくましく育った馬に乗って敵が攻め込んで来るから警戒せよ（油断するな）という意味で使われていたようです。

遠く富士山を見れば、いつの間にか頂上には白い雪が積もっています。楽しい時ほど、時間が経つのは早いものです。ひょっとしたら秋から冬への移り変わりも早いかもしれません。妙典中生一人一人が爽やかな秋を楽しむとともに、油断することなく一日一日を大切に過ごし、充実した後期のスタートを切ってくれることを期待しています。

キャリア教育セミナー



9月29日（金）に、キャリア教育セミナーが開催されました。

このキャリア教育セミナーは、学校教育目標である「未来を拓く妙典中生徒」の育成をねらいとする、妙典中伝統の行事です。

様々な分野の職業人をゲストティーチャーとしてお招きし、35の職業講座を開設することができました。

生徒はこれらの講座から2つを選び、それぞれ30分ずつの講座を受講し、ゲストティーチャーからその仕事の内容ややりがいなどについて、お話を伺いました。受講した生徒の感想を紹介します。



社会で活躍されている職業人に直接話を伺うことができてとても参考になった。

妙典中生への期待や熱い思いが伝わってきて、嬉しかった。

講師の先生のように、自分の『好き』を活かして、新しいことにチャレンジできる人になりたいと思った。

興味のある職業について、より広く、より深く、その職業について知ることができた。

経済については難しいなあと感じると同時に、面白そう！これから関わってみたいと思った。

私達の生活は、色々な職種の方々に支えられながら成り立っていることを改めて感じた。

お客様のために、という気持ちがすごい伝わってきた。私も「働く」ということについてしっかり考えて仕事に就きたいと思った。

育児をしながら働くなど幅広い働き方から自分に合った働き方を選択できたらいいなと思った。

色々な職業について、具体的に知ることができた。また、自分の将来の職業の選択肢として興味関心を持つことができた。

周囲の人や物事に感謝すること、また、人との縁を大切にすることを教えていただいた。

1つの商品を作るのに、実に多くの人に関わっていることを知った。

いい仕事をするために、コミュニケーション能力が必要なことがわかった。

この他にも、多くの素晴らしい感想が寄せられました。生徒はそれぞれに、普段の学校生活では学ぶことのできないことを学べたのだと実感しています。

キャリア教育セミナーはコロナ禍により一時期は開催できませんでしたが、昨年度より復活。今年度もPTAの皆様の大なる協力のもと、充実した行事となりました。ご協力いただいたPTAの皆様、そして、地域・ゲストティーチャーの皆様に心より感謝申し上げます。

生徒会役員、始動!!



9月15日(金)に、生徒会役員選挙が行われました。立合演説会はリモートで配信され、立候補者と応援弁士の演説を各教室で視聴しました。その後の投票は、投票用紙による投票ではなく、タブレットを活用した電子投票で行われました。

立候補者と応援弁士による演説は、皆緊張した表情ではありませんでしたが、「妙典中をよくしていきたい!!」との熱い思いがモニター越しにも、伝わってきました。

開票は電子投票の利点を生かして手間なく円滑に行われ、新しい生徒会役員(会長1名、副会長2名、書記2名、会計2名、会計監査2名)が決まりました。新しいリーダーとともに、生徒一人一人がそれぞれの立場で、「生徒主体の妙典中」を創り上げていってくれることを期待しています。



ヘルシースクール講演会



10月5日(木)に、ヘルシースクール講演会が体育館にて、美化委員の司会進行により開催されました。本講演会は、「普段行っている『清掃活動』や『整理整頓』をより価値あるものにしていきたい」との思いから、美化活動について改めて考える機会とするため、企画したものです。

「ゴミ拾い仙人」として活躍されている吉川充秀さんを講師としてお迎えし、「人生を変えるゴミ拾い～掃除・整頓のスヌメ～」という演題で美化活動についてご講演いただきました。

講演の中で吉川さんは「ゴミ拾いをすると、自分が『イケてる』と思える魔法にかかる」とおっしゃっていました。別の言い方をすると「自己肯定感が上がる」「自分に自信が持てる」ということだと思います。「幸せに生きること」と「自己肯定感」「自信」には深い関係があります。ぜひ、自分が『イケてる』と思えるまでゴミ拾い(清掃活動)に取り組んでみてはいかがでしょうか。

また、お金持ちになるためには、「人が喜ぶことを人よりちょっとだけ余分に続けること!」。「それが社会人にとって最も大切な『信頼』を得ることにつながる」「そんな生き方をするには『掃除と整頓』です」とおっしゃっていました。つまり、掃除と整頓は「お金持ちになるため」だけでなく「信頼を得るため」「人としていい仕事をするため」「生きがいを得るため」にも必要なのだということですね。

今回の講演を聞き、皆さんの清掃活動への取り組み方が明らかに変わりました。「継続は力なり」。吉川先生のお話を思い出して、ぜひ、美化や整理整頓を心がけ、学校や家庭で実践を続けてほしいと思います。そして、自分のことだけではなく、相手のことや周囲の環境のことも考え行動できる妙典中生徒に成長してくれることを願っています。

